

日本学術会議第 1 5 3 回総会資料

(第 2 0 期 第 8 回)

平成 2 0 年 7 月 1 4 日 (月)

(2008 年)

日 本 学 術 会 議

# 一般的注意事項

## 1 出席のサイン及び名札・票等の取扱い

- (1) 総会に出席される方は、受付で出席のサインをお願いします。
- (2) 名札・票等は講堂の席上に配布してあります。会議終了後は、名札・票等を講堂出口付近の返却箱に返却してください。

## 2 旅費の支給について

旅費請求書を配布いたしますので、押印してください。

※印鑑を必ず御持参ください。

## 3 発言する場合

発言を要求する際には挙手をし、議長から指名された後に、最寄りのマイクを通して所属部、氏名を言ってから発言してください。

## 4 投票を行う場合の方法

採決に当たって投票を行う場合には、番号札（水色の票）を係員に渡してから、議案を可とする会員は青票を、議案を否とする会員は赤票を、議案の可否を決しない会員は白票を投票箱に投入してください。

（注1）投票を行う際には、中央の二つの通路から投票箱に進み、投票後は、壁際の通路から帰席してください。

（注2）実際に投票が行われる際には、投票方法の詳細等について、改めて説明があります。

## 5 委員会開催の周知について

休憩時等に委員会を開催する場合は、エレベーターわきの電光掲示板にてお知らせいたします。

## 6 その他

- (1) 公衆電話は、1階に設置してありますので御利用ください。
- (2) コーヒー、紅茶のポットを1階ホワイエ、各部の会議室に御用意しておりますので御利用ください。

報	1
総 会	1 5 3

## 会 長 経 過 報 告

平成 2 0 年 7 月 1 4 日

会 長 金 澤 一 郎

### 前 回 ( 第 1 5 2 回 ) 総 会 以 降 の 経 過 報 告

#### 第 1 要 望 の 発 表

次の要望を決定し、発表した。

「信頼に支えられた医療の実現—医療を崩壊させないために—」

(6月26日幹事会決定)

#### 第 2 声 明 の 発 表

次の声明を発表した。

「気候変化：適応策と低炭素社会への転換」

「地球規模の健康問題（グローバル・ヘルス）」

(6月10日発表)

#### 第 3 会 長 コ メ ン ト の 発 表

次のコメントを発表した。

「G 8 サミットに向けた各国学術会議の共同声明」について

(6月10日発表)

「信頼に支えられた医療の実現—医療を崩壊させないために—」について

(6月26日発表)

#### 第 4 提 言 等 の 承 認

##### 1 生 殖 補 助 医 療 の 在 り 方 検 討 委 員 会

「代理懐胎を中心とする生殖補助医療の課題—社会的合意に向けて—」

- (4月8日幹事会決定、4月16日鳩山法務大臣、舛添厚生労働大臣に手交)
- 2 科学者委員会 学協会の機能強化方策検討等分科会  
「新公益法人制度における学術団体のあり方」  
(5月22日幹事会決定)
  - 3 臨床医学委員会・薬学委員会合同臨床試験・治験推進分科会  
「日本における臨床治験の問題点と今後の対策」  
(5月22日幹事会決定)
  - 4 総合工学委員会巨大複雑系社会経済システムの創成力を考える分科会  
「巨大複雑系社会経済システムの創成力強化に向けて」  
(6月26日幹事会決定)
  - 5 情報学委員会ユビキタス空間情報社会基盤分科会  
「安定持続的なユビキタス時空間情報社会基盤の構築に向けて」  
(6月26日幹事会決定)
  - 6 臨床医学委員会障害者との共生分科会  
「身体障害者との共生社会の構築を目指して：視覚・聴覚・運動器障害認定に関する諸問題」  
(6月26日幹事会決定)
  - 7 地球惑星科学委員会  
「陸域－縁辺海域における自然と人間の持続可能な共生に向けて」  
(6月26日幹事会決定)
  - 8 総合工学委員会  
「交通事故ゼロを目指して」  
(6月26日幹事会決定)
  - 9 地球惑星科学委員会・土木工学・建築学委員会合同国土・社会と自然災害分科会  
「地球環境の変化にともなう水災害への適応」  
(6月26日幹事会決定)
  - 10 情報学委員会セキュリティ・ディペンダビリティ分科会  
「安全・安心を実現する情報社会基盤の普及に向けて」  
(6月26日幹事会決定)

## 第5 会長出席国際会議

月 日	会 議 名	開 催 地
4月28日	S T S forum council meeting	チューリッヒ
5月27日～31日	アジア学術会議	青島

## 第6 国内会議の開催

- 1 内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、日本学術会議主催「第7回産学官連携推進会議」を、6月14、15日に国立京都国際会館にて開催した。
- 2 日本学術会議、北海道大学主催「公開シンポジウム：地球温暖化－科学者からのメッセージ」を6月25日に北海道大学にて開催した。

## 第7 日本学術会議地区会議の開催

- 1 日本学術会議中部地区会議学術講演会を7月4日に金沢大学にて開催した。

## 第8 会長等出席行事

- 1 日本国際賞授賞式（金澤会長、浅島副会長、土居副会長、谷口局長、綱木次長他）（4月23日）
- 2 国際シンポジウム「iP S細胞研究が切り拓く未来」（金澤会長）（5月11日）
- 3 原子力総合シンポジウム2008（金澤会長）（5月14日）
- 4 岸田大臣、総合科学技術会議議員及び科技部局幹部との懇談会（金澤会長）（5月19日）
- 5 農林水産技術会議事務局との意見交換会（四役、三部長、谷口局長、綱木次長他）（5月22日）
- 6 野口英世アフリカ賞授賞記念講演会（浅島副会長、谷口局長）（5月29日）
- 7 G8学術会議共同声明内閣総理大臣へ手交（金澤会長、土居副会長、谷口局長他）（6月10日）
- 8 総合科学技術会議と日本学術会議の連絡懇談会（四役、谷口局長、綱木次長他）（6月11日）

## 第9 慶弔等

### (1) 慶事

#### ①平成20年春の褒章受賞者

紫綬褒章

今田 高俊(いまだたかとし) 第20期第一部会員、東京工業大学大学院社会理工学研究科教授

黒岩 常祥(くろいわつねよし) 第20期第二部会員、立教大学大学院理学研究科・極限生命情報研究センター センター長、特任教授

安西祐一郎(あんざいゆういちろう) 第20期第三部会員、慶應義塾塾長

#### ②平成20年春の叙勲受章者

瑞宝大綬章

吉川 弘之(よしかわひろゆき) 第17-18期会長、第20期連携会員、独立行政法人産業技術総合研究所理事長

#### ③カブリ賞

飯島 澄男(いいじますみお) 第20期連携会員、名城大学教授

### (2) ご逝去

(会員)

伏見 康治(ふしみこうじ) 5月8日 第11-12期会長

(連携会員)

相澤 清人(あいざわきよと) 4月17日 第20期連携会員、独立行政法人日本原子力研究開発機構特別顧問

工藤 一郎(くどういちろう) 4月27日 第20期連携会員、昭和大学教授

戸塚 洋二(とつかようじ) 7月10日 第20期連携会員、東京大学特別名誉教授

## 第10 その他

### (1) 事務局人事異動

事務局長 新：竹林 義久 (7月1日付)

旧：谷口 隆司 (7月1日付)

参事官(国際業務担当) 新：原嶋 耐治 (7月1日付)

旧：村田 啓子 (7月1日付)

1	
総会	153

## 提 案

## 会員候補者名簿の承認

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 標記について別添の名簿を承認すること
- 3 提案理由 日本学術会議会則（平成17年10月24日日本学術会議規則第3号）第8条第3項の規定に基づき、会員候補者を内閣総理大臣に推薦することにつき総会の承認を得る必要があるため。

（参考）日本学術会議会則（平成17年10月24日日本学術会議規則第3号）（抄）

- 第8条 会員及び連携会員（前条第1項で定める連携会員を除く。）は、幹事会が定めるところにより、会員及び連携会員の候補者を、別に総会が定める委員会に推薦することができる。
- 2 前項の委員会は、前項の推薦その他の情報に基づき、会員及び連携会員の候補者の名簿を作成し、幹事会に提出する。
  - 3 幹事会は、前項の会員の候補者の名簿に基づき、総会の承認を得て、会員の候補者を内閣総理大臣に推薦することを会長に求めるものとする。